

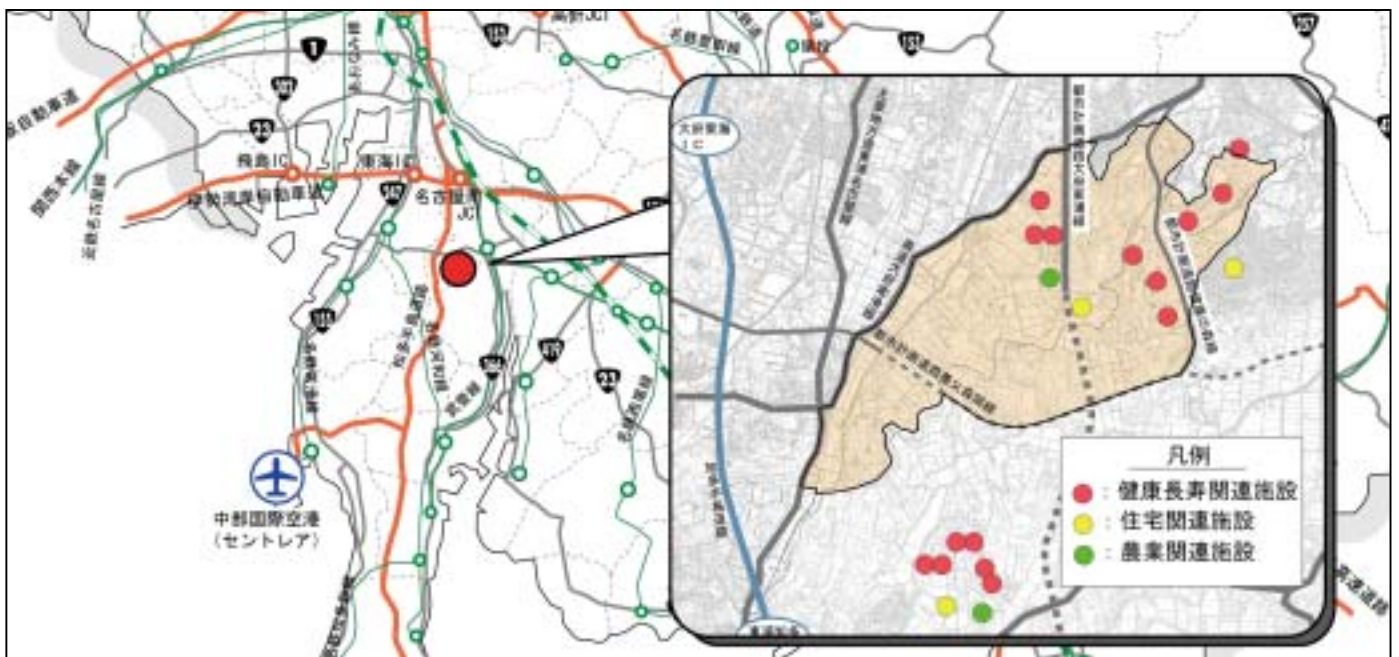
# ウェルネスバレー基本計画 (概要版)

## ウェルネスバレー基本計画とは

ウェルネスバレーとは、「あいち健康の森」とその周辺エリアのことを指します(下図参照)。この区域には、国立長寿医療センターやあいち健康プラザをはじめ、健康・医療・福祉に関する施設が多数立地しており、健康長寿分野において全国でも有数の集積地となっています。

大府市と東浦町では、その大きなポテンシャルを有効に活用し、この地域に健康長寿に関する一大交流拠点を創るための検討を進めてきました。

今回、これまでの検討の成果として、具体的な施策や土地利用の方針をとりまとめ、ウェルネスバレー基本計画書を作成しました。



## ウェルネスバレーの目的

ウェルネスバレーを構築することによってすべてのライフステージで健康な生活ができるようになり、大府市・東浦町の住民は、健康、医療、福祉、介護分野について安心して一生を過ごすことのできる環境を享受するこ

とができるようになります。また、立地企業においては、健康長寿関連の集積を活かした新たなビジネスモデルの構築が可能となります。



### 「ウェルネスバレー」の由来

「ウェルネス」とは、人々が今よりも積極的で創造的かつ高度な心身の健康状態を獲得して、それを維持発展させていこうとする生活活動全体を意味する健康概念です。

「ウェルネスバレー」は、この「ウェルネス」の概念を様々な角度から、サポートしたり提案したり、あるいは情報発信するソフト、ハードを包含した地域の意味で、アメリカのシリコンバレーになぞって命名したものです。

## ウェルネスバレーの目指す将来像

世界的な健康長寿に関する新たな産業の創出と雇用の拡大が図られ、ウェルネスを促す交流と賑わいが進み、ウェルネスな生活活動が実践できる住環境が形成された、健康長寿の一大拠点（ウェルネスバレー）の形成を目指します。

これら健康長寿の拠点形成に向けて、先導的役割を担うコンソーシアムを構築することで、ウェルネスバレーの各種事業の推進や世界に向けた情報発信を行い、ウェルネスバレーとしての地域ブランドの構築を目指します。



## ウェルネスバレーの土地利用計画



**医療福祉ゾーン 約10ha**  
医療福祉施設などの、健康長寿をテーマとした、医療・福祉・健康増進に関する施設や研究所等を誘致します。

**健康交流ゾーン 約28ha**  
体験農園や、心身障害者等のリハビリテーション機能を持った福祉農園、学校教育の場として活用する食育農園など、リゾート機能を合わせ持った土地利用を目指します。

**健康生活ゾーン 約46ha**  
医療モールに勤務する医師、看護師等を受け入れる住宅や、中長期的に療養する人のための賃貸住宅、住宅産業界の取り組みによるモデル住宅などの住環境形成を目指します。

**健康産業ゾーン 約87ha**  
「食料品」「繊維」「化学」「輸送機械器具」「精密機械器具」等からなる健康長寿関連産業の研究所・工場等の誘致を目指します。

## ウェルネスバレー周辺の都市基盤整備計画

- ・都市計画道路 大府東浦線
- ・都市計画道路 養父森岡線
- ・武豊大府自転車道整備
- ・半月川河川改修

## 将来像の実現に向けた施策の展開

### 健康、医療、福祉、介護等の健康長寿に関する産業の育成・創出

ウェルネスバレーでは、健康、医療、福祉、介護等の健康長寿に関する産業の育成を図ります。

愛知県、とりわけ大府市・東浦町が含まれる知多地域には、健康長寿関連企業からの多くの立地意向が確認されていますが、用地不足や都市基盤整備の遅れなどから、立地が進まないという課題があります。

この課題を解決するため、ウェルネスバレーにおいて産業用地を開発するとともに、周

辺の道路整備や河川改修等のインフラ整備を推進します。なお、産業用地創出に関しては、地元地権者の協議組織を中心に事業検討を進めます。

また、ハード面での環境整備に加えて、ソフト面の充実を図るため、国立長寿医療センター等における研究活動と関連企業間の共同研究やビジネスマッチング事業を展開したり、新たなビジネスモデルの構築によるベンチャー企業の創出を支援します。

#### 関連する主な事業

- ・ 主要インフラ整備事業
- ・ 国立長寿医療センター等における研究活動と関連企業間の共同研究
- ・ ベンチャー企業創出事業
- ・ 企業立地支援事業
- ・ 主要ライフライン整備事業
- ・ 産業用地の創出事業

### ウェルネスな生活活動が実践できる住環境整備

ウェルネスバレーでは、民間デベロッパーによるウェルネスな生活を実現する健康住宅地の形成を図ります。

ウェルネスバレーは、健康長寿に関する既存施設の集積を強みにして、地域特性を活かした持続可能なまちづくりを進めることで「長生きしてよかった」と思えるウェルネスな生活を実現する健康住宅地の形成を展開します。

ウェルネスな生活を実現するためには、国

立長寿医療センターを始め医療モールに勤務する医師、看護師、研究者等を受け入れる住宅や、中長期的に療養する人のための賃貸住宅、また、住宅産業界の取り組みによる長期優良モデル住宅などの住環境形成を目指します。

また、上下水道等の関連インフラを先行的に整備することで民間の投資を促し、官民の役割分担により事業を推進します。

#### 関連する主な事業

- ・ 主要インフラ整備事業
- ・ 主要ライフライン整備事業
- ・ 住宅計画推進事業
- ・ 交通アクセス事業
- ・ 住宅推進モデル事業



#### 「健康長寿産業」とは

「企業立地促進法」に基づく東尾張地域の基本計画において、健康長寿関連産業として「食品」、「飲料・飼料」、「繊維」、「衣料・その他の繊維製品」、「化学」、「輸送機械器具」、「精密機械器具」を定めています。ウェルネスバレー基本計画でもこの定義を採用し、これら健康長寿関連産業を誘致ターゲットとします。

## ウェルネスを促す 交流と賑わいづくりの推進

ウェルネスバレーでは、医療モールの形成による「ウェルネス交流」の展開を図ります。  
健康長寿に関心の高い中高年層をターゲットとしたウェルネス観光や、近隣の学校を対象とした健康と食育をテーマとした教育旅行の受け入れ、歴史資源等を楽しむ観光交流等、地域のホスピタリティに触れる「ウェルネス交流」の展開を図ります。

### 関連する主な事業

- ・観光推進事業（産業観光、ウェルネス観光（周辺施設））

ウェルネスバレーでは、「げんきの郷」が進める「東知多アグリルネッサンス構想」による交流農園、福祉農園等の拠点づくりを展開し、農業を通じた健康長寿産業の一環としてウェルネス交流の展開を支援します。

### 関連する主な事業

- ・農業体験、ふれあい事業
- ・園芸福祉事業
- ・地産地消システム事業

## モデル事業・事業発信・相互連携の 役割を担うコンソーシアムの構築

基本計画に位置づけた施策事業の進行管理、先導的役割を担うモデル事業、情報発信、相互ネットワークを図るコンソーシアムを構築するために「（仮称）ウェルネスバレー推進協議会」の設置を行います。

当該協議会は、地元自治体を中心となり体制を構築し、ウェルネスバレーの推進役として関係機関とのネットワークやウェルネス交流、健康長寿関連産業の誘致・創出のための情報発信等を行います。

### 関連する主な事業

- ・情報発信推進事業
- ・ネットワーク推進事業
- ・モデル事業（地方の元気再生事業）
- ・企業誘致推進事業



### 「医療モール」とは

商業施設が集積し、遊歩道や歩行者専用の買い物広場などのある商店街（ショッピングモール）のような、健康長寿をテーマとした関連施設（医療施設等）の集積を指しています。

## 問い合わせ先

大府市役所企画政策課政策推進室  
Tel: 0562 - 45 - 6255（直通）  
E-mail: kikaku@city.obu.lg.jp

東浦町環境経済部地域振興課 地域振興係  
電話番号：0562 - 83 - 3111（代表）  
E-mail: chiikisinko@town.aichi-higashiura.lg.jp